

## 令和元年度第2回 三重県公衆衛生審議会健康管理危機管理部会 議事概要

日時： 令和2年2月20日(木) 15:00～16:30

場所： 吉田山会館2階 第206会議室

出席者： 資料(出席者) 参照

議事概要：

今回から、市町の代表として亀井名張市長が委員として加わった。

### (1) 新型コロナウイルス感染症への対応について

事務局より資料1に基づき報告した。

#### 【委員からの提案・質疑】

- ・資料中の「地域流行」という単語や、説明の中で「フェイズが変わりつつある」とった単語があったが、「地域流行」とは通常「エピソード」を指す。また、「フェイズが変わった」というエビデンスはない。不用意な言葉は余計な心配を与えることがあるので留意してほしい。
- ・厚生労働省の基準が変わったことにより、帰国者・接触者外来の受診者が増え、対応する医療機関がオーバーフローしている。この対応を考えなければならない。
- ・イベントや会議等の開催・中止の判断基準は、国から示されると思うが、市町に対してこれをベースに県の基準を示してほしい。
- ・産業・経済の現状も把握すべき。当部会ではなく別の協議体でもよいので、産業界、経済界の意見を聞いてほしい。
- ・疑似症患者の自宅待機は各医師の判断で依頼してよいのか。
- ・診療所における疑似症患者への対応方法を検討すべきではないか。

### (2) 今後の対応について

新型コロナウイルス感染症の国内及び県内の状況を整理・情報共有し、今後の課題について具体化した。

本審議会における協議内容をふまえて、今後の新型コロナウイルス感染症対応にかかる県の考え方を整理のうえ、次回の同部会で再度協議し、万が一地域流行となった場合でも迅速かつ適切に対応できるよう体制を整えていくこととなった。